

開催  
報告

多摩地域の消費者団体交流会 取組報告 & 交流会

# 「知っていますか？ペットボトルの新しいリサイクル」 ～プラスチック減量について考える～

日時：2024年7月22日（月）14:00～16:00 参加者：44名

会場：多摩消費生活センター 主催：多摩地域の消費者団体交流会実行委員会

東京都消費者月間協賛事業



司会：村橋 悠さん  
東京三弁護士会  
多摩支部

地球環境への負荷を考えCO2削減や資源循環のために「ボトル to ボトル」水平リサイクルの取り組み、大学生が行っているごみ減量の取り組み、消費者団体が工場見学に行ってきたことなどを報告していただきました。分散交流では「私たちができるごみ減量、プラスチック減量」をテーマに感想も含めグループで交流しました。



横幕 玲子さん  
立川市消費者団体連絡会

## 開会挨拶

ペットボトルは便利ですが、作る時にも廃棄する時にもCO2を排出してしまいます。本日は、新しいペットボトルのリサイクルについてのお話と、プラスチック削減策を大学内で普及啓発する活動の報告を伺います。環境の活動を続けていると、本当にこれでいいのだろうか？と思うときもありますが、今日のような報告・交流会で新しいことを学び、参加者どうし交流することで、これからの活動につなげていければと思っています。

## ペットボトルの100%サステナブル化実現に向けた取り組み

サントリーホールディングス株式会社

サステナビリティ経営推進本部 資源環境グループ 上席担当部長 小松 則夫さん

### 【すべてのペットボトルを100%サステナブルボトルへ】

サントリーは2030年までにペットボトル製造にあたり、化石由来原料の新規使用ゼロを目指し、リサイクル素材あるいは植物由来素材等100%のみを使用したペットボトルとします。

### 【進むペットボトルの水平リサイクル】

これまでのペットボトルリサイクルは、ペットボトル以外の素材に生まれ変わり再利用されてきました。けれど、他の素材が混ざったリサイクルでは、1回のリサイクルで終わってしまい、その後ほとんどが焼却されてしまいます。ここ10年でペットボトルとして再利用できる技術の革新があり、「ボトル to ボトル」水平リサイクルが実現できました。「ボトル to ボトル」は、ほぼ半永久的にリサイクルすることが可能です。

### 【持続可能な社会の実現】

これまでの自治体等によるペットボトル回収では、入札で決まったリサイクル業者に再生用途を指定することができませんでした。「ボトル to ボトル」ができる業者でないと水平リサイクルができないことから、サントリーグループでは、自治体とペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定を締結し、家庭から回収したペットボトルをペットボトルとして新たに再生します。現在240の市区町村と協定を締結し、30件以上の法人・学校とも協定を締結しています。



【発足の経緯】2019年「農工大プラスチック削減5R  
キャンパス宣言」から発足。

【大学での取り組み】自動販売機のペットボトル廃止  
無料給水器の設置、プラスチック削減グッズ

【プラごみ減らし隊の取組み】学内でのプラスチックに  
関するアンケート調査、コンタクトレンズケースの回収  
ゴミ拾い、Japan Sustainability Week2024

【これから行いたいこと】更なるネットワークの構築  
多くの団体や学生と関わる機会を継続すると同時に、  
新たな出会いも大切に活動を続けていきます。

農工大プラスチック削減5R キャンパス推進活動  
東京農工大学プラごみ減らし隊

国分寺市のボトル to ボトルからエシカル消費を考える  
パルシステム東京西国分寺委員会 岡本 真理子さん

国分寺市ではサントリーと協定を結んで、ペットボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」が2023年に始まりました。市の環境部の話やサントリーの企業理念を聞き、家庭から出たペットボトルのリサイクル、税金を使うけれどCO2を削減できる水平リサイクルが良いと考えました。ボトル to ボトルは新しくペットボトルを作るよりもCO2排出量を約60%削減できます。



多摩の25市2町村が全部ボトル to ボトルになったら多くのCO2が削減できます。私たち消費者が使い終わった後の処理まで考えることがエシカル消費です。

## ご挨拶

本日は当施設をご利用いただき、ありがとうございました。多摩センターでは登録団体に対して、教室や学習室、調理実習室等の学習の場の提供をおこなっています。消費者問題について活動する団体であれば団体登録いただけます。新規登録を考えている方はぜひお気軽にご相談ください。登録いただくとロッカーや印刷室もご利用できます。

真上 浩泰さん 東京都多摩消費生活センター所長



## 閉会挨拶

新しくなった多摩消費生活センターでの初めての交流会で、どの位参加していただけるか不安でしたが、多くの方にご参加いただけ安堵しております。グループでの活発な意見交流の様子も報告され、実際に集まって交流することの良さも実感しております。本日はありがとうございました。

五十嵐 ちづ子さん 多摩の暮らしを考えるコンシューマーズ・ネットワーク

